

上越市立牧小学校

〒943-0636 新潟県上越市牧区国川1550番地1

<http://www.maki-e.jorne.ed.jp/>



1 地域・学校の概要

牧小学校という校名は、大正14年12月1日に、当時の国川尋常高等小学校、岩神尋常小学校、宮口尋常小学校の三校の合併により生まれた「牧村立牧尋常高等小学校」に由来する。当時の通学区域は、宮口、荒井、東松ノ木、下昆子、山口、檜谷、国川、小川、田島、岩神の10集落であった。その後、牧国民学校を経て、戦後の学制改革により昭和22年に牧小学校となった。

牧・原・川上・宇津・高尾・沖見の各小学校は、昭和29年の町村合併により牧村立学校として、しばらくの間、独立校として継続した。最盛期の昭和35年ころには、6小学校合わせて、1200人以上の児童数を数えた。しかし、高度経済成長がもたらした社会構造の変革により、過疎化が進み急激な人口減少に至った。その後も、生産人口の減少と少子化が進み児童数はさらに激減した。そして、昭和63年策定の牧村総合計画により、6小学校の統合が計画的に行われた。

宇津小学校と高尾小学校が平成元年に、川上小学校が同7年に、原小学校が同8年に、沖見小学校が同9年に牧小学校に統合され、平成9年4月1日、現在の牧小学校となった。平成17年1月に市町村合併により「上越市立牧小学校」となり、現在に至っている。令和6年度に創立150年をむかえた。

当校は、各教科等や地域の教育資源を生かした「総合的な学習の時間」の充実に力を注ぎ、「ふるさと牧」を愛し、心身ともに健康で人間性豊かな、たくましい児童の育成に努めている。また、「緑の少年団」の活動を継続し、地域に根ざした活動を展開している。

近年では、平成24年度からコミュニティスクール制度を導入し、学校運営協議会との熟議を通して、地域とともに歩む学校づくりを推進している。また、平成25年度より、上越市教育委員会の3年間「小中一貫教育モデル校」指定を受け、9年間を意識したカリキュラムづくりを進めた。そして、平成27年度からは「小中合同文化祭」と「小中合同あいさつ運動」を開催し、小中が連携した教育活動を実施し、成果を上げている。平成30年度からは3・4年生が複式学級となり、続いて令和3年度からは5・6年生が複式学級となった。令和6年度からは、1・2年生が複式学級となった。児童数の減少傾向が続いているが、その中でも、地域や近隣他校や園と連携しながら、小規模校の強みや地域の環境を生かした教育活動の推進に努めている。

2 児童数

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
男子	2	1	1	1	3	5	13
女子	2	0	0	1	4	2	9
合計	4	1	1	2	7	7	22